

国語  
二一

第一学年及び第二学年の内容  
いろいろな言葉②

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの [ ] からえらび、かきましよう。

① はなちゃんは、とても（ ）ので、  
なかなかった。

② かれは、だれにでも（ ）。

③ 野やきゆうのれんしゆうにいつも（ ）  
とり組くんでいる。

④ かれは、（ ）だけに、よくあそぶ。

がまん強つよい

まじめに

やさしい

元げん気きな

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの  からえらび、かきましよう。

①（ ）なおきくんは、うそをつく  
ことができなかった。

②先生は、<sup>せんせい</sup>な<sup>い</sup>て<sup>い</sup>る<sup>ぼく</sup>に（ ）  
ことばを<sup>か</sup>け<sup>て</sup>く<sup>れ</sup>た。

③（ ）おまわりさんが、<sup>みち</sup>て<sup>い</sup>ね<sup>い</sup>  
<sup>おし</sup>に<sup>道</sup>を<sup>教</sup>え<sup>て</sup>く<sup>れ</sup>た。

④ぼくのゆめは、なに<sup>ご</sup>と<sup>にも</sup>お<sup>そ</sup>れ<sup>な</sup>い  
（ ）し<sup>よ</sup>う<sup>ぼ</sup>う<sup>し</sup>に<sup>な</sup>る<sup>こ</sup>と<sup>だ</sup>。

しんせつな      しようじきな  
ゆうきのある      あたたかい

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの からえらび、かきましよう。

①（ ） まじよは、空とぶほうき  
を森にわすれてしまった。

② この森のおくには、みんなからわすれられた  
（ ） おしろがたっている。

③（ ） きつねは、森のどうぶつたち  
にいたずらばかりしてこまらせていた。

④ まじよは、（ ） まほうのことばをつぶ  
やき、きつねをこらしめた。

ふる	古い	そそっかしい
ふしぎな	いじわるな	

つぎの文の( )にあてはまることば  
を、あとの( )からえらび、かきましよう。

① 今日きょうのかん字じテストは、なん回かいも  
れんしゅうしたので( )。

② 町まちたんけんに出でかけたら( )はっ見けんが  
あった。

③ ( )算数さんすうのもんだいとくことが  
できてうれしい。

④ ミニトマトの花はなのようすを( )  
かんさつする。

かんたんだ くわしく

むずかしい 新あたらしい

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの からえらび、かきましよう。

① オリンピックで日本人が活やくするニュース  
を聞くと（ ）気もちになる。

② たんごのせつくに（ ）かぶとかざり  
をかざってもらう。

③ 今年も（ ）つゆのきせつが  
やってきた。

④ 十五夜の（ ）お月さまが町を  
てらしている。

うつくしい りっぱな  
うつとうしい 明るい

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの  からえらび、かきましよう。

① 東京スカイツリーに行くには、このバスが  
（ ）。

② 東京スカイツリーのエレベーターには、  
江戸切子のぎじゅつをつかったガラスの  
（ ）もようがある。

③ 水ぞくかんには、めったに見られない  
（ ）魚がたくさんいた。

④ ペンギンの（ ）しぐさが  
かわいらしい。

おかしな	こまかな
めずらしい	べんりだ

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの からえらび、かきましよう。

① ぼくは、きみと（ ）いけんでうれしい。

② このようふくは、わたしに（ ）  
サイズだ。

③ 遠回りをして、いつもと（ ）道を  
とおって帰った。

④ となりの家の犬によく（ ）犬を見かけ  
た。

おなじ

ちがう

ぴったり

にた

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの からえらび、かきましよう。

① 今日きょうは、雨あめがふる（ ） 気きがする。

② あの雲くもは、くじら（ ）形かたちをしている。

③ このながめは、ゆめで見みたけしきと  
（ ）。

④ 台風たいふうが近ちかづいている（ ）。

らしい ような  
みたいな そっくりだ